

これ、いいね！ユニバーサルデザインの道具たち

安全で 使いやすい ペーパーカッター

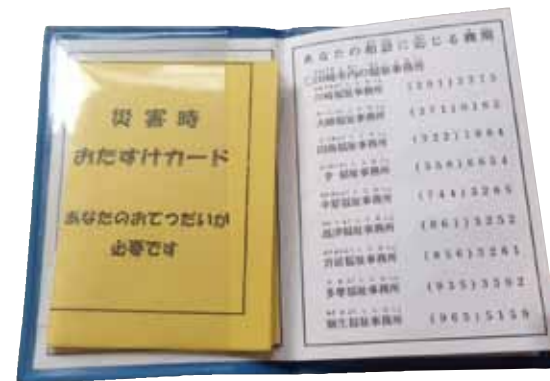


商品名:「Line」ライン
(ハンディペーパーカッター)
製造元:長谷川刃物(株)
発売代理店:(株)はらく
<http://www.harac.jp/product/line.html>

カッターはとてまなじみの深い道具です。仕事や工作など色々な作業に年齢を問わず使用されます。しかし、一般的な細長い形のカッターは、刃がむき出しになっているので、皮膚を傷つけないよう、安全に十分配慮して使う必要があります。また、カッターが動かないように指でしっかり固定するため、強い指の力も必要です。

でも、このカッターなら大丈夫。パソコンのマウスのように握って、紙の上を滑らせるように使います。実際に動かしてみると、手首をひねることもなく、軽い力で曲線もスムーズに切る事ができました。刃はセラミックでできているので、触っても皮膚を傷つけることなく安全です。これなら小さいお子さんやお年寄り、怪我や病気によって指の力が弱い方も安心して使うことができますね。

持ってたよかった！ 「おたすけカード」 ご存知ですか？



「名前は聞いたことがあるけれど」と、まだよくご存知ない方のために、今回は写真入りでご紹介します。カードは折りたたみ式で、障害者手帳などにぴったり収納できるコンパクトなサイズ。中面には氏名・連絡先、かかりつけの病院や必要な支援について記入しておきます。

「いざという時、周りの方々に情報を伝えて、スムーズに支援を受けられるツールとして活用してもらいたい！」もともと災害時のためにと考案されたのですが、実は日常的にも大変役立ちます。外出先で怪我をしたり、事故や急病になったりなど、とっさに言葉がでない、説明できない時などにも、このカードを見せれば一安心。持ち歩きに便利で心強い「おたすけカード」です。

- 配布設置場所:多摩区役所1階アトリウム、8階障害者支援係の窓口。
- 多摩区地域自立支援協議会のホームページからダウンロードできます。

多摩区地域自立支援協議会とは?

障がいをお持ちの方々が、住み慣れた地域で安心して暮らしていけるように、直面する数々の困難な課題についてその改善・解決を計るためのネットワークづくり、様々な提案や企画立案、実行をしています。●構成メンバー:障がい当事者、家族、支援者、各相談施設、福祉機関、区役所等。●5つの委員会(当事者/交流/防災/暮らし/広報)が活動しています。

お問い合わせ先

多摩区保健福祉センター高齢・障害課 多摩区地域自立支援協議会 電話:044-935-3302 Fax:044-935-3396
ホームページ <http://www.city.kawasaki.jp/tama/page/0000054346.html>



たまネット

お祭りに 行ってみよう。

気軽に
はじめたい、
「地域交流」

今年、多摩区地域自立支援協議会の目標は「地域に出よう」です。ふとした縁で人や場所に親しみを持つと、暮らしにも安心感が生まれるようです。

そこで「くらし委員会」では、まずは身近なところからスタート！を合言葉に、地域の様々な情報を発信してまいります。例えば、お住まいの近くのお祭り、商店会や町会のイベント、サークル活動など、気軽に催しを見に行く、顔を出してみる。タイミングが合えば参加させてもらう。ちょっとした機会を足がかりに新しい人の輪や交流が生まれるかもしれません。また、多摩区内に数多い文化財や史跡などもご紹介しつつ、安全確認や支援の連携など考察しながらお知らせしていきます。どうぞお楽しみに。



多摩区内の秋祭り予定

- 9月13日(日) 菅の獅子舞(薬師堂):写真
平成13年県指定無形民俗文化財に指定される。
- 10月17日(土) 多摩区民祭(生田緑地)

自分らしい 暮らしへの 第一歩!

バリアフリーのお店情報&
アンケート調査実施中!

障がいを持つ人たちを中心にした「当事者委員会」は、今年度「車いすお出かけマップ」の完成を目指して活動しています。昨年の道路状況の検証の成果を発展させて、今回は「気軽に立ち寄れるお店」の調査発掘が目的です。車いす利用者はもちろん、障がい者が自分で日常の買い物や外食、時にはブティック等でのショッピングや、美容室でのサービスを受けることができれば、グンと外出機会が増え、行動範囲が広がって、もっと生活を楽めます。

そんな期待と願いをこめて、街のバリアフリー化の現状はどうなっているか、さらにそれを積極的に進めていただくために、各商店街でのアンケート調査を実施いたします。結果はたまネットやホームページでご報告&紹介していきます。ぜひ、皆様のご協力をお願いいたします。



現在、多摩区内には多数の福祉施設、事業所があります。それぞれ創意工夫したプログラムやユニークな取り組み等、その活動を当事者の声と一緒にお伝えします。

「身だしなみ講座」を開きました。

- 平成 27年 6月 4日(木)
- 川崎市発達障害地域支援センター「ゆりの木」

一步を踏み出す きっかけに!

「社会への一步を踏み出すきっかけに!」と、ゆりの木では今回、社会人としての基本的な意識の向上や 就活の準備を目的として、スキンケアとメイクを中心とした身だしなみ講座を開催しました。

講師にはハーバー研究所とエイブル・アート・カンパニーのスタッフをお招きして、参加者は6名。それぞれ男性は洗顔フォームを使用した泡の立て方や洗顔の仕方を、女性はクレンジングや化粧水の付け方、ファンデーションの塗り方を教えていただきました。

特に「適量」という、参加者にはわかりにくい表現に対して化粧水は500円玉大、ファンデーションはパフに3回まわして付けるなど、具体的に教えていただいたのが大変役立ったようです。

その後「講座に参加してから、毎日欠かさず洗顔するようになり、肌の調子が良くなりました。」と実際うれしい報告がありました。



- 第一印象がとても重要だと、よくわかりました。スキンケアを上手にするには、どうしたらいいのかわかっていたので、参加して良かったです。(20代・男性)
- 顔の洗い方を知ることができて良かった。(20代・男性)
- これまで意識していなかったので、500円玉大や、ファンデーションは3回が適量という事を初めて知って、驚きでした。(30代・女性)

適量って、
どれ
くらい?



参加者の
感想

これ
くらい

川崎市発達障害地域活動支援センター ゆりの木
発達障害に特化した日中活動支援と相談支援を行っています。相談は麻生区・多摩区にお住まいの15才以上の方、日中活動は発達障害の診断がある18才以上の方を対象にしています。
住所：川崎市麻生区上麻生 1-7-11 クラウンビル 301
TEL：044-969-7177 FAX：044-951-2177

女性たちがつくる 「手作りマルシェ」に出店。

- 平成 27年 6月 27日(土) ●場所：すくらむ 21 (川崎市男女共同参画センター)
- パン工房「ア・レーズ」販売体験

チームワークで、 見事に完売!

いつもは多摩区内のイベントや各施設で出張販売することが多く、地元では「溶岩窯でつくる美味しいパン」と親しまれているア・レーズです。

今回はさらに一般のお客さまが大勢集うイベント「手作りマルシェ」に出店。なんと正面玄関前の目立つ場所にて。会場内は女性たちの手作り作品が並び、子供たちへの本の読み聞かせ会など、アットホームな雰囲気です。そのせいか、店先にも家族連れはじめ幼児から高齢者まで様々な人たちが立ち寄ってくださいます。スタッフ2名(レジと商品搬送)と一緒に、売り子の利用者さん3名はそれぞれに作業を役割分担してスタンバイ。

- 1) パンを入れてもらう籠を手渡す。
- 2) ビニール袋にチラシとパンを入れる。
- 3) お客様に手渡す。

当日は生憎の雨模様でしたが、お昼近くにはどっと人だかり。パンの説明が間に合わないくらい、一挙にでんでこ舞い。「いらっしやいませ」や「ありがとうございました」の声掛けも弾んで。徐々に連携もスムーズに。途中、まごつく場面もあったけれど、無事完売!しかも、帰り際にわざわざ「おいしかったよ!」と声をかけてくださるお客様もいて感激。「張り合いがあった」「もっと知りたい」と最後はみんな笑顔でした。

川崎市社会福祉事業団 KFJ 多摩 はなみずき
知的障害のある方々へ生産活動の提供を通じ、知識および能力の向上を図り、障害に応じた最適の社会参加形態の構築を支援します。希望者には関係機関と連携し就労支援も行います。
住所：川崎市多摩区登戸 2249-1
TEL：044-930-4571 FAX：044-934-1166

- 通常は工房の中でのパン作り。売り場に立って、作ったパンが売れていくのがうれしくて、お客さんに買ってもらえるよう精一杯声を出しました。(40代・女性)
- いつもは室内で軽作業をしているので、こんなふうに働いているところをみてもらうことが出来てうれしい。出店の知らせを聞いて、昔の同級生や水泳の先生が来てくれた!(30代・女性)
- パンを袋詰めするのにも順番があることや手順等はじめて覚える事も多かったけれど楽しかった。(20代・男性)

参加者の
感想

